



What's up, OITA!

《VOL.96》
2021年
2月発行

世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。



大分の写真
ふるさと

豊後高田市



岬かき揚げ丼
地元豊前海で獲れた新鮮な小エビを使ったB級グルメ



粟嶋神社
(あわしまじんじゃ)
縁結びの神様として知られている

杵築市



牡蠣(カキ)
県内でも屈指の牡蠣の産地「守江湾」で獲れる



農業文化公園
湖の周りに花畑やキャンプ場などがある体験型施設

外国人留学生在が伝える『大分留学の魅力』

動画で世界にPR! - #I Choose OITA私が大分を選ぶ理由 -



県では、外国人留學生の大分県への留学促進を図ることを目的とし、外国人留學生が作成した県内大学等における留學生生活とその魅力を紹介する動画等を、下記特設サイトで配信しています。

県内の各大学、専門学校から個人・団体あわせて200名以上の留學生が参加し、留學生生活や体験を紹介するため、自らカメラで撮影するなどして制作いただきました。ぜひ、ご覧下さい！



友達や後輩にもシェアしてね！



<https://sns.ichooseoita.com/>



日本語教室ボランティア研修 開催！

日本語教室は県内在住外国人の居場所のひとつ



会場の様子

大分県には、2020年12月末現在、13,061人も外国籍の方が住んでいます。新型コロナウイルス感染症で国際的な人の往来が制限されている影響で、1年前からは800人程少ないものの、5年前と比較すると2,500人も増加しており、またその国籍も123ヶ国・地域と多様化しています。

外国人が日本で安全に安心して生活するためには、日本の法律や地域のルール、災害・避難情報などを正しく理解することが必要です。

県内には21の日本語教室があります。日本語教室は、外国人が日本語を学ぶ場としてはもとより、日本人や地域との接点、相談解決の場としてその重要性が再認識されています。

そこで、日本語教室で日本語ボランティアとして活躍されている方などを対象に、「日本語教室ボランティア研修」を開催し、11月～12月に中津市で6回、1月～2月に大分市で6回実施しました。

APU本田教授を講師に迎え、ボランティア多数参加

講師には立命館アジア太平洋大学言語教育センター長の本田明子教授をお迎えし、ビギナー研修3回、スキルアップ研修3回の2コース開講しました。研修では、日本語教室の役割やその重要性、日本語教授法、実際に日頃から教えているボランティアの方への助言まで、幅広くお話していただきました。

研修には約40名の方にご参加いただき、積極的にご質問されるなど、本田教授のお話を熱心に聞かれており、大変好評でした。



講師 本田明子教授

外国人にとっても住みやすい大分県となるように、今後も日本語教室ボランティア研修の開催など、日本語教室の活動を支援していきます。

中国で「大分県水産物フェア」の開催

かぼすブリなど県産魚4種をPR！

県では、1月12日～2月10日まで、中国大連市の日本料理店「天正河豚」で県産魚をPRする「大分県水産物フェア」を実施しました。

大連で味わう大分の“食”

コロナ禍で県から現地を訪問したPR活動が難しい中、今回のイベントは現地商社の大連天正実業の孟雪松社長と連携して開催しました。孟社長には、令和元年10月に県の農林水産物輸出サポーターを委嘱しています。期間中には、初めて中国へ輸出されるかぼすブリをはじめ、養殖クロマグロ、養殖シマアジ、養殖マダイの4種類の魚が提供されました。

さらに店舗では大分が誇る麦焼酎「いいちこ」も取り扱っており、県産魚と県産焼酎のマリアージュも楽しめるメニューになりました。



提供された刺身盛り（かぼすブリ等）

お客様からも好評価

お客様からは、「かぼすブリは臭みが少なく美味しい、今まで食べたことがない」「マグロはとっても美味しい、口に溶ける様な甘みがある」「大分県についてよく知らなかったが、水産物フェアを通じて大分の美味しい魚を食べることが出来た。一度大分県に行きたい」といったうれしい感想をいただいています。

孟社長からは「今回のフェアの開催にとっても感謝しています。様々なメディアを活用して宣伝しており、多くのお客様が来てくれています。是非、コロナに負けないように一緒に頑張って、今後も交流やビジネスを通して連携を図っていきたい」とのコメントをいただきました。



フェアが開催された店舗（中国大連）

今後も、これまで関係を構築してきた現地商社や留学生OBの皆さまの協力を得ながら、定期的に県産品や観光のPR活動を行っていききたいと思います。

被災した八幡奈多宮を修復

多くのご支援、ありがとうございました！

杵築市から
お知らせ

鳥居から昇る朝日

八幡奈多宮（Hachiman Nada Shrine）は、杵築市東部の砂浜が続く海岸に鎮座する神社です。宇佐神宮とも深いかわりがあり、約1300年の歴史があります。海岸から300m沖合の小島にある「鳥居」が特徴的で、美しい朝日とあわせて古くから祈りの地となっています。

■クラウドファンディングによる 再建プロジェクト（募集は終了しています）

2020年9月、台風10号による暴風と高波が、シンボルとなっていた鳥居や石柵を流失させました。根元から折れた鳥居は、奇跡的に神社近くの浜辺に打ち上げられていました。

高齢化・過疎化が進むこの集落単独での再建は困難と思われましたが、この地に新たに移住してきた人たちが中心となり、クラウドファンディングを立ち上げました。インターネット上で始めた本プロジェクトでは、開始から29日目、目標金額である200万円に到達。海外からも含め、287人の方々から当初の目標額を上回るご支援をいただきました。



浜辺に打ち上げられた鳥居



台風接近時の高波



支援を募るポスター

■いただいたご支援で鳥居を修復

このほど再建・修復作業を終え、1月24日に鳥居などの完成記念式典が行われました。皆様のご賛同・ご支援に感謝申し上げます。奈多宮付近では、地域住民による松林の保全が進み、ソーシャルディスタンスを確保できる散歩道

も復活しました。バーガースタンド、SUP体験もできるビーチハウスを改装した民泊施設など、新しい活気が生まれています。

コロナ禍収束後に、ぜひお越しください。

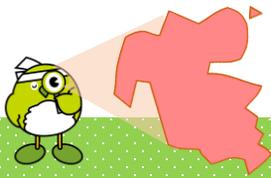


修復作業の様子

<https://youtu.be/xDpodMFJqqM> 八幡奈多宮-YouTube



（八幡奈多宮周辺PR動画）



県内のニュース(1月)

1/7
(日)

技能実習生に防災「お守り」

災害から実習生を守りたい

佐伯市米水津の「よのうづ国際交流の会」は、2021年から同地域の事業所で働くベトナム出身の外国人技能実習生11人に、避難所マップなどが入ったお守り「ぼうさいおまもり（防災御守）」を贈りました。

付近は南海トラフ地震による津波被害が想定され、万一の際に役立ててもらおう目的。交流の会の渡辺正太郎会長は「家族からお預かりした実習生の安全を守るの、私たちのつとめ」と説明しています。



1月

育児をする男性九州トップ！

九州地域戦略会議が実施した調査で、「大分県の男性は九州・山口9県の中で家事・育児時間が最も長い」という傾向が分かりました。大分県は子どものいる世帯のうち共働き世帯の割合が全国平均より高く、ワークライフバランスを重視する人が増えています。

県は10年から「おおいたパパくらぶ」と題した男性向け育児講座を開催しているほか、今年度は県内3市で「子育てパパ応援講座」を始めるなど、仕事と子育ての両立を目指す取り組みも進めています。



1/25
(金)

西大分にぎわい創出

ホーバー発着地周辺

県と大分市は25日、市役所で政策協議をし、県が2023年度に就航を計画するホーバークラフトの発着地（大分市駄原の大分港西大分地区）周辺で連携して地域活性化に取り組むことを確認しました。

西大分地区に新ターミナルを整備し、「かんたん港園」などと合わせて観光客らが食事や散策を楽しめる空間づくりを構想しており、周辺に観光施設の多い田ノ浦地区に市が建設を計画している道の駅も含めて、一体的に観光振興を図ります。



国際交流員 旬な情報をお届け!

From our Reporter

「MANGA都市TOKYO」展



シェ シンラン
(Xie Xin Lan)

東京はたくさんのアニメ・漫画作品の舞台になり、特に東京タワーや都庁など名の通ったランドマークが、世界中のアニメ・漫画ファンに親しまれています。ファンの一員として、先月OPAMで開催された「MANGA都市TOKYO」を見に行ってきました。当展覧会は2018年にフランスのパリに初めて開催し、昨年東京の国立美術館を巡回した後にいよいよ大分で開く事になりました。東京の変化と特徴を反映してきたマンガ・アニメ・ゲーム・特撮作品をスポットにあたって、マンガ原画やアニメ制作資料、映像やインスタレーション作品など約90タイトルと500点以上の展示物を通じて、「東京」の風景を様々な角度から捉えました。その中に自分の好きな作品もたくさん見られたので、漫画とアニメの世界に没頭した昔の時間を楽しく思い出しました。

大分での飲む日本酒



盧 知榮
(Noh Jiyoung)

私はお酒を飲むことが好きです。お酒は弱いですが、みんなで飲むとき盛り上がる雰囲気が大好きだからです。しかし最近、コロナの関係で飲みに行くことができないため、一人家で世界の色々なお酒を飲んでいました。先日は、海辺散歩に行ってきた別府で「おけちゃん吟醸」を発見しました。300mlの小さい容量ではありますが、ボトルのデザインが大分ロゴマークの「おけちゃん」となっていて、とてもかわいいです。「大分を紹介するなら、まずは自分から」と思いながら、一本を買ってみました。数年前、初めて飲んだ日本酒はとても辛く、苦かったので、日本酒の第一印象がよくなかったですが、「おけちゃん吟醸」は違いました。アルコールの味がしないで、喉越しが良く、とてもアルコール14度の酒だとは思えませんでした。おつまみには大分の名物、唐揚げにしたら、とても相性がよくて、早く韓国の友達にも味わわせてあげたいと思いました。

あなたの活動を世界に紹介しませんか？

県人会の活動（懇親会等）や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください！

（様式は任意です）

【記事提供／お問い合わせ先】

国際政策課 担当：重石、松田

【Mail】 a10140@pref.oita.lg.jp

募集中!



(公社)ツーリズムおおいた

<https://www.visit-oita.jp/>

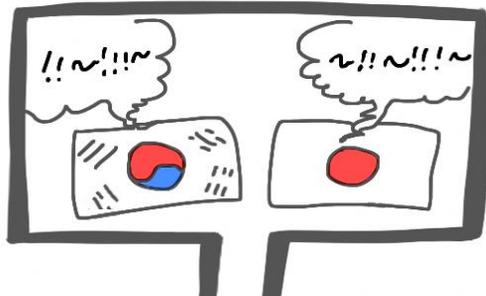
最新の観光情報は
こちらのHPを
ご覧ください！



昨年12月に来日した韓国の国際交流員、ノ ジョンさん。

今月号から毎月、ノさんの日本での生活の様子や感じたことを自筆のイラストとともにお伝えします！

時は2019年の夏、



幸いにその年度に合格できた。



当時、前の職場で担当していた
交流事業が中止となった。

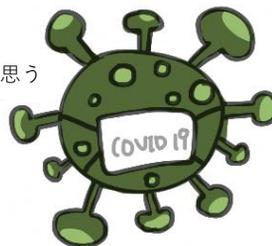
しかし「あれ」の影響で
来日はどんどん遅れていった。

ノジ
(当時2×歳)



みんなが思う

「あれ」



国の問題とはいえ、
すぐ友好関係が悪化されることは
とても悲しかった。

待機して8ヶ月になったある日、
担当者から連絡が来て…



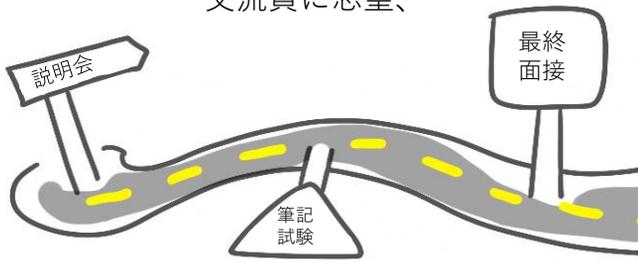
担当

続く

みんなさん、お待たせ
しました。ようやく
日本へ…

了解です！！！！

だけどこんな時こそ
交流を進めるべきと思い
交流員に志望、



連絡来たとき
かご編みをして
していました。